

献 辞

渡辺敬二先生は、平成19年3月に近畿大学の規定により定年退職となり、引き続き特任教授に就かれ、平成20年3月末日をもって最終退職となりました。先生は、昭和42年4月に近畿大学商経学部助手として奉職されましたので近畿大学での教員生活は41年に及ぶこととなります。この間の近畿大学における教育研究活動のご功績を讃えて、先生とご親交のあった方々や経営学部教員が集い退任記念論文集をここに謹呈するものであります。

渡辺敬二先生は、昭和14年6月に、富山県富山市にて出生されました。高校ご卒業後、明治大学商学部へ進学されました。昭和37年3月に明治大学をご卒業後は、株式会社明治屋に入社されましたが、研究への志やみがたく1年後の昭和38年4月には明治大学大学院商学研究科修士課程に入学され、昭和41年4月に博士課程へ進学することを機に明治屋を退職されておられます。先生は、昭和44年3月に明治大学大学院商学研究科博士課程を単位取得退学されました。

渡辺敬二先生は、大学院博士課程在学中の昭和42年4月に縁あって近畿大学商経学部助手として奉職されています。昭和44年4月には専任講師、昭和47年4月には助教授に昇任されておられます。先生は、私ども後輩の模範となる研究者でありました。早くも大学院在学中の昭和41年11月には同文館出版より『チェーン・ストア』を上梓されています。専任講師の時代には『明日の小売戦略』（ミネルヴァ書房、昭和45年4月）を、助教授に昇任されてからは『小売店経営学』（中央経済社、昭和52年12月）、『商店経営講説』（ぺんぎん出版、昭和52年12月）、『商店経営』（ぺんぎん出版、昭和53年12月）を公表されておられます。

昭和54年4月には、小売商店経営に関する研究業績が評価され、教授に昇任されました。また、平成15年4月には、商経学部の改組により経営学部教

授となりました。教授昇任後は、『最新商店経営論』（中央経済社，昭和55年12月），『店舗経営学』（啓文社，昭和57年12月），『販売促進学』（中央経済社，平成5年3月），『小売企業の経営学』（中央経済社，平成12年10月）と数々の著作を上梓され学界へ多大な貢献をされておられます。また，研究業績一覧にありますように多くの共同研究執筆，翻訳，研究論文は，社会的にも高く評価されているところであります。

渡辺敬二先生は，商経学部の創立20年後の学部発展期に商経学部へ奉職され，商学科の研究教育のなお一層の発展に大きな功績を残されました。先生の研究面での多大なご貢献が現在の経営学部商学科の隆盛を導かれたものと感謝いたしております。また，教育面でも極めて懇切かつ丁寧な授業には定評があり，研究室にはいつも多くのゼミ生が集っておりました。厳しくかつ愛情を持った指導を受けたゼミ生が社会の多方面で活躍されておられます。

先生は，実直かつかざらぬ人柄で，いつも我々後輩に優しく語りかけ，学問のこと教育のことをご教示くださいました。心よりお礼を申し上げますとともに，これからも健康に留意され，なお一層のご活躍をされますように祈念いたしております。

平成22年6月吉日

近畿大学経営学部長
（兼務）商経学部長
浦崎直浩